



第2回 Future Earth 国際シンポジウムを開催 「Decision Science for Future Earth- Japan's seeds for a "Good Anthropocene"-」

Future Earth は、国連傘下の4つの地球環境プログラム、およびその連携機構である地球システム科学パートナーシップを統合した国際プログラムであり、2013年に創設されました。Future Earth は地球環境問題だけでなく、貧困や教育などのあらゆる社会問題の解決に貢献する科学の発展を目標とし、科学者のみならず企業・政府・NPO などさまざまな利害関係者との共創(co-design)を重視し、国連の持続可能な開発目標(SDGs)に貢献する超学際科学(統域科学 transdisciplinary science)の展開を意図しています。

九州大学では、2016年に、日本では初めての Future Earth 関連の本格研究プロジェクトである JST のフューチャーアース推進事業に「環境・災害・健康・統治・人間科学の連携による問題解決型研究」(代表者:矢原徹一)が採択され、九州大学持続可能な社会のための決断科学センター(以下、本センター)のスタッフを中心に、研究開発を推進しています。

今回の国際シンポジウムでは、本センターが地域の課題と向かい合いながら、さまざまな利害関係者との共創で取り組んでいる Future Earth プロジェクトの内容や成果を、国際的に発信します。環境・災害・健康・統治・人間科学の分野で統域的に展開されているこれら個別のプロジェクトは、規模は小さくとも、人類の未来をより良く導くヒントが多く秘められています。シンポジウムでは、ゲストとして、横浜国立大学教授・松田裕之氏、北海道大学教授・宮内泰介氏らをお招きし、九州大学の成果を踏まえ、Future Earth の今後の研究の進め方や日本発の Future Earth コンセプトについて本センターからの提案を行い、議論します。

【日時】2017年12月1日(金)13:30~17:00(意見交換会※会費制 18:00~19:30)

2017年12月2日(土)9:00~17:40

【場所】九州大学伊都キャンパス 伊都ゲストハウス 1F 多目的ホール

【主催】九州大学持続可能な社会のための決断科学センター(IDS3)

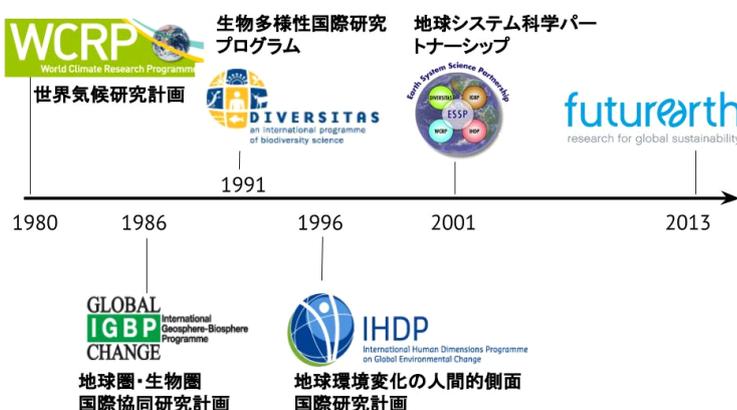
【言語】英語・日本語(同時通訳あり)

【定員】なし

【参加費】無料 ※12月1日(金)意見交換会(18:00~19:30)については会費制

【申込方法】下記アドレスより直接お申込ください

<http://kokucheese.com/event/index/495622/>



Future Earth は、国連傘下の4つの地球環境プログラム、およびその連携機構である地球システム科学パートナーシップを統合した国際プログラムであり、2013年に創設されました。UNESCO、国連大学などの国連機関以外に、世界科学会議(ICSU)、世界社会科学評議会(ISSC)、ベルモントフォーラム(先進国の grant agency で構成される組織で、日本からは JST が参加)、などが推進母体となっています。

【お問い合わせ】九州大学 学務部決断科学大学院プログラム支援室

電話:092-802-6050 FAX:092-802-6057

Mail: ketsudan@jimu.kyushu-u.ac.jp



The 2nd International Symposium on Decision Science for Future Earth

Japan's seeds for a "Good Anthropocene"

TIME	1-2 December, 2017	2017.12.1(Fri) 13:30 - 17:00 / 意見交換会 (会費制) 18:00 -19:30 2017.12.2(Sat) 9:00 - 17:40
PLACE	Ito Guest House, Kyushu University	
GUESTS	Hiroyuki Matsuda	Professor, Yokohama National University 横浜国立大学 教授
	Manish Biyani	Associate Professor, Japan Advanced Institute of Science and Technology 北陸先端科学技術大学院大学 特任准教授
	Rafiqul Islam Maruf	Associate Professor, Kyushu University Hospital 九州大学病院 特任准教授
	Ratih Madya Septiana	Lecturer, Universitas Gadjah Mada カジャマダ大学 講師
	Taisuke Miyauchi	Professor, Hokkaido University 北海道大学 教授
	Tomohiko Akahoshi	Associate professor, Kyushu University 九州大学 准教授
	Fumio Ide	Principal, Hiroyasunishi Elementary school 益城町立広安西小学校 校長
	Masami Tono	Principal, Toho Gakuen 小中一貫校東峰学園 校長
	Hiroaki Harada	Student, Shingu Junior High School 新宮町立新宮中学校
	Miri Oagata	

事前申込み制 / 入場無料 / 当日参加も可 / 同時通訳あり

右記のQRコード / ウェブサイトで事前申込みをしてください ▶ <http://kokucheese.com/event/index/495622/>



主催 / 九州大学持続可能な社会のための決断科学センター | Organized by: Institute of Decision Science for a Sustainable Society (IDS3), Kyushu University

申込み・問い合わせ先 / 九州大学決断科学大学院プログラム支援室 | E-mail: ketsudan@jimu.kyushu-u.ac.jp

Contact: Administration office, Graduate education and research training program in decision science for a sustainable society, Kyushu University



Day1 : Friday, December 1, 2017 @ Ito Guest House, Kyushu University

13:00-13:30	受付 / Registration
13:30-13:35	開会挨拶 / Opening remarks
13:35-14:05	基調講演 1 : 矢原徹一 (九州大学持続可能な社会のための決断科学センターIDS3) & Anne-Hélène Prieur-Richards (フューチャー・アース グローバルハブ事務局) Keynote speech: Tetsukazu Yahara, Director of IDS3, Kyushu University & Anne-Hélène Prieur-Richard, Global Hub Director, Montreal, Future Earth "Science in the Anthropocene"
14:05-14:35	基調講演 2 : 松田裕之 (横浜国立大学大学院環境情報研究院) Keynote speech: Hiroyuki Matsuda, Professor, Yokohama National University "Drawing a blueprint for a house that is already standing: The consensus formation process on the nomination of Shiretoko World Heritage"
14:35-14:50	ディスカッション / Discussion
14:50-15:20	休憩 & ポスターセッション Break & Poster Session
15:20-15:50	基調講演 3 : 矢原徹一 (九州大学 IDS3) Keynote speech: Tetsukazu Yahara, Director of IDS3, Kyushu University "Concepts of Decision science for Future Earth: how can we transform our society towards a sustainable future"
15:50-17:00	事例報告 : 村上 貴弘・比良松 道一 (九州大学 IDS3) Case Study: Takahiro Murakami, Michikazu Hiramatsu (IDS3, Kyushu University)
18:00-19:30	意見交換会 / Dinner

Day2 : Saturday, December 2, 2017 @ Ito Guest House, Kyushu University

8:30-9:00	受付 / Registration
9:00-11:40	セッション1 持続可能なローカル社会を目指す協働はいかにして可能か？ — トランスディシプリナリー研究プロジェクトの比較検討 — "How to make a co-design and co-production process toward a sustainable local society?" — Comparative Study on Trans-disciplinary Research Projects — 9:00-9:10 本セッションの趣旨 / Introduction 花松泰倫 (九州大学 IDS3) 9:10-10:10 「インドでのポータブル・ヘルス・クリニック健診事業における大学・地域自治体・NGO との Co-Design・Co-Production・Co-Delivery の試みと課題」 Rafiqul Islam Maruf (九大病院 MIC), 横田文彦 (九州大学 IDS3), Manish Biyani (北陸先端科学技術大学院大学) 10:10-10:50 「遠隔農山村における地域小水力発電の取り組み：インドネシアと九州の事例」 佐藤辰郎 (九州大学 IDS3) 10:50-11:00 休憩 11:00-11:40 「インドネシアの産業造林をめぐる協働の課題：ガジャマダ大学のトランスディシプリナリー活動から学ぶべきもの」 藤原敬大 (九州大学大学院農学研究院), Ratih Madya Septiana (ガジャマダ大学森林学部)
11:40-12:50	昼食 / Lunch
12:50-15:50	12:50-13:30 「すんなりいかない co-design — 圃場スケールの事例より —」 山下奉海 (九州大学 IDS3) 13:30-14:10 「持続可能な地域コミュニティ創出に向けた大学・科学・地域間の協働の試み—長崎県対馬市の事例—」 花松泰倫 (九州大学 IDS3) 14:10-14:20 休憩 / Break 14:20-15:50 パネルディスカッション&コメント / Panel Discussion & Comment コメンテーター：宮内泰介 (北海道大学大学院文学研究科) パネリスト：花松泰倫, 横田文彦, 佐藤辰郎, 藤原敬大, 山下奉海 (九州大学)
15:50-16:10	休憩 / Break
16:10-17:25	セッション2 災害時の避難所における共創型価値モデル創造への九州での挑戦 — 誰がステークホルダーなのか？ — "Challenging for co-creative value model in evacuation shelters under disaster situation in Kyushu." — Who are stakeholders? — 杉本めぐみ (九州大学 IDS3), 井手文雄 (益城町立広安西小学校), 東野正美 (東峰村立東峰学園), 赤星朋比古 (九州大学医学研究院), Jecinta Wairimu Kamau (九州大学システム情報科学府・博士課程), 原田裕章, 尾方美凜 (新宮町立新宮中学校)
17:25	閉会挨拶 / Closing remarks